

小学校 第5学年

単元名 **お米を育てよう**
「米と伝統野菜」

れんこん - 山口県 -



地場産物の説明

岩国れんこんは、約200年前、岩国藩主の命を受けた農業者村本三五郎が、今の岡山県から備中種の種れんこんを持ち帰ったことが栽培の始まりといわれている。岩国れんこんは9つの穴があり、藩主吉川公の家紋「九曜紋」を連想させることから、藩主にとっても喜ばれ珍重された。

岩国れんこんの特徴は、独特のもっちりとした粘りとシャキシャキ感である。温暖な気候や日照時間が長いことなどの自然条件と、地元の人々の改良の努力で、現在は収穫量が全国第4位である。れんこんの収穫は秋から冬の寒い時期で、れんこんを傷つけないように「ばんくう」や「かいかき」といった専用のクワを使って手作業で行う場合が多く、大変な重労働である。

(JA全農やまぐち「正直やまぐち」より)

献立例

ごはん、牛乳、さばのみそ煮、小松菜のごまあえ、^{おおひら}大平、みかん

1人当たりの栄養量 (小学校)

エネルギー	658kcal
たんぱく質	25.3g
脂質	19.7g
カルシウム	393mg
鉄	3.0mg
ビタミンA	524 μ gRE
ビタミンB ₁	0.60mg
ビタミンB ₂	0.50mg
ビタミンC	47mg
食物繊維	5.2g
食塩	1.8g
マグネシウム	100mg
亜鉛	3.3mg



給食の時間の指導 (感謝の心・食文化)

きょうの給食の「大平」は、岩国の郷土料理です。新鮮な野菜と鶏肉を入れた、おめでたい席にかかせない汁物です。料理名は、器が大きな平碗であることから由来しています。岩国の伝統野菜である岩国れんこんが入ることが特徴です。岩国れんこんは、約200年前、村本三五郎が今の岡山から種れんこんを持ち帰ったことが始まりです。9つの穴があり、吉川家の家紋「九曜紋」を連想されることから、お殿様に大変喜ばれたそうです。れんこんの収穫は、寒い中手作業で行うので大変な重労働です。

岩国れんこんの生産者の方々や、岩国の自然の恵みに感謝しながらいただきます。

小学校 第5学年 総合的な学習の時間学習指導（略）案

日時 平成21年 月 日 第 校時
 対象 5年 組 名
 指導者 担任 (T1)・栄養教諭 (T2)

1 単元名 お米を育てよう ～米と伝統野菜～

2 単元の目標

- (1) 昔ながらの田植えや稲刈りを知り、体験し、収穫したお米で岩国の郷土料理を作る一連の活動を通して、昔の人の苦労や知恵を知る。
- (2) 地域の人や友だちとのふれあいを通して、互いを思いやる心や尊敬する心を育て、人との交流の喜びを味わう。
- (3) 生命の神秘さ、働く喜びを体験するとともに、協力して最後まで粘り強くやり抜こうとする心情をもつ。

3 本時（10/12時）

- (1) 本時のねらい
 岩国の郷土料理のよさについての理解し、地場産物（岩国れんこん、米）を使った料理を作る意欲をもつことができるようにする。

〈食育の視点〉

- 岩国の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解する。（食文化）
- 岩国の産物を栽培し伝えてきた昔の人の苦労や知恵を理解し、感謝の気持ちをもつ。（感謝の心）

(2) 展開

過程	主な学習活動	教師の支援 (T1)	教師の支援 (T2)	備考
気付き (10分)	1 岩国れんこんについて調べたことを発表する。 ・ 歴史 ・ 収穫量 岩国の郷土料理について知ろう	○ れんこんが昔から作られてきた伝統野菜であることを理解させる。	○ 実物の岩国れんこんを示し、学習への意欲化を図る。	ワークシート れんこん (実物)
活動する (25分)	2 給食の献立表を見て、岩国れんこんを使用した献立を探し、よさを発表する。 ・ 岩国れんこんのよさ（身近、親しみ、味覚、新鮮） 3 岩国の郷土料理のよさについて、話し合う。 ・ 先人の苦労と知恵 ・ 伝承する願い ・ 郷土料理の種類	○ 岩国れんこんは身近に食べられ、親しまれていることを伝える。 ○ れんこん生産者のビデオレターを流し、岩国の郷土料理を伝承することへの願いを伝える。	○ 当日の給食に「岩国れんこん」を使用し、感想とともに味や食感などの特徴をひきだす。 ○ 岩国の郷土料理について説明するとともに、郷土料理は、昔の人の苦労と知恵の産物であることをおさえる。	献立表 郷土料理の 写真 ビデオレター
振り返る (10分)	4 本日の学習を振り返り、発見したことを発表する。 ・ 先人の知恵 ・ 生産者への感謝 ・ 実践への意欲	○ 岩国の郷土料理のよさを理解し、実践化につなげているか机間指導する。	○ 自分たちが育てたお米で次回、郷土料理である岩国ずしを作ることへの意欲付けをする。	ワークシート

(3) 評価

- 岩国れんこんや岩国の郷土料理についてよさを理解できたか。
- 岩国ずし作りを意欲的に取り組もうとしたか。